



与論小だより



ブログはこちらから

校訓：至 誠【 真心をもって人に尽くす 真心をもって事にあたる 】

令和6年度 学校教育目標と5つのプラン

校長 荒殿 博昭

「おはようございます。」朝、正門に立っていると元気のよい声が聞こえてきます。振り返り、私も笑顔であいさつを返します。気持ちのよい朝のスタートです。与論小には、元気よくあいさつができる児童がたくさんいます。「さあ、今日もがんばるぞ」という気持ちで登校しましょう。学校には、わくわくすることがたくさんありますよ。

令和6年度が始まり、3週間が経とうとしています。4月8日に新任式があり、4人の教職員を迎えました。9日には入学式を実施し、15人の新1年生が入学しました。今年度は、8学級、児童113人、教職員16人です。創立149年目、今年度もよろしくお願いいたします。

今年度の学校教育目標も「校訓『至誠』を胸に、未来に挑む子供の育成」としました。校訓は、至誠【真心をもって人に尽くす・真心をもって事にあたる】ですが、この真心とは「偽りや飾りのない心、真剣に尽くす心のこと」です。子供たちが目標に向かい、心から真剣に打ち込む姿はすばらしいものです。「不易（ふえき）」と「流行（りゅうこう）」という言葉があります。「不易」とは、いくら世の中が変わっても変わらないもの、変えてはいけないものです。『至誠』は「不易」にあたります。『至誠』を胸に刻みつけ、自身の言動の拠り所にしてほしいと思います。

逆に「流行」とは、世の中の変化とともに変わっていくものです。これからの時代は、グローバル化や情報化が急速に進み、予測のできない多様な社会になると言われます。子どもたちは、時代の変化に柔軟に対応しながら、自分のよさや可能性を認識するとともに、様々な人々と協働しながら、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となれるよう、その資質能力を育成することが求められています。「不易」と「流行」を見定めながら、学校教育活動等を通して身に付けた力で、未来を切り拓いてほしいと思います。

思います。

具体的な取組である5つのプラン（左図）は、人権教育をすべての教育の根幹とし、与論町が掲げる「島だちの教育」の具現化を図るものです。まずは知・徳・体のバランスのとれた児童の育成を目指します。確かな学力を身に付け、豊かな心を育て、心も体も健康な人に育ててほしいと思います。そして、地域の文化や伝統を継承していく活動にも取り組み、郷土を愛し、郷土に誇りをもって郷土を支えていく人材の育成にも努めます。また、私たちも、指導法を研究したり、教職に必要な知識や技能を学んだりしながら日常の教育に還元できるようにしたいと思います。保護者や地域の皆様の御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

